

三 平成26年度事業計画

事業区分	事業量	金額(千円)
造林施設事業	1,300m	2,400
(作業道新設)	1,300m	2,400
保育事業	611ha、31,000m	286,545
(つる切)	20ha	3,066
(除伐)	62ha	10,215
(間伐)	119ha	24,413
(利用間伐)間伐	209ha	189,938
作業道新設等	31,000m	
(枝打)	201ha	58,913
緑の産業再生プロジェクト事業	8,300m	213,400
(作業道等新設)	8,300m	213,400
間伐材販売	209ha	72,552
森林整備地域活動支援事業	7市町村	26,323
分収林契約適正化事業	60件、640ha	2,500
(美しい森林事業費補助金支出)	60件、640ha	
合 計		603,720

財務改善を図るためのコスト縮減策

1 事業関係：平成17年度から新植廃止。

2 財務改善：平成19年度から職員人件費を10～15パーセント削減。

平成18年度から農林漁業金融公庫借入金の支払利息全額を県補助金化。

3 課 題：平成25年2月に策定した造林公社の経営改革プラン（長期、第1期）に基づいて収入間伐の着実な推進を図るため、収益対象林分の把握に努めるとともに、林内路網の整備を促進し、伐採搬出コストの低減を図る必要がある。

また、分収造林制度が国策の一環として推進されてきた経緯に鑑み、国による抜本的な改善措置が講じられるよう、他県とも連携して引き続き要望を行っていく。